

ポスター輪講実施要領（修士・博士）

教務担当：鶴岡 慶雅

1. 融合情報学コースの学生は、研究の進捗を夏学期および冬学期のポスター輪講にて発表する。発表者以外のすべての学生は、ポスター輪講に参加し活発な質疑討論を行う。
 - ・ 夏学期の発表者：M2 (4 月入学)、D2 (10 月入学)
 - ・ 冬学期の発表者：M2 (10 月入学)、D2 (4 月入学)
2. 今年度のポスター輪講の開催予定と場所は以下の通りである。

日時：夏学期：2014 年 7 月 25 日（金）
冬学期：2015 年 1 月 30 日（金）（予定）

場所：武田ホール+ホワイエ（武田先端知ビル 5F）
(http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html)

当日の詳細なスケジュールは開催予定日の約 2 週間前を目途に連絡する。発表が多い場合は、終日開催となるので、必ず予定を空けておくこと。
3. 発表に当たっての準備と注意事項（発表者向け）

(A) 準備に関して

 - ポスター輪講タイトルを期日までに電気系事務室(eejim-ss [at] ee.t.u-tokyo.ac.jp)に連絡すること。

夏学期ポスター：2014 年 5 月 23 日（金）
冬学期ポスター：2014 年 11 月 7 日（金）
 - ポスター輪講は「1 分間発表」および「ポスター発表」で構成される。事前に「1 分間発表用スライド」、「資料」、「ポスター」を準備すること。
 - 「1 分間発表用スライド」の PDF ファイル（プロジェクタで投影、A4 横で 1 ページのみ、英語で作成、動画や音声の使用を認めない）を、**ポスター輪講 2 日前の 17 時まで**に
[ccs-kyomu\[at\] ee.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:ccs-kyomu[at]ee.t.u-tokyo.ac.jp)
宛に送ること。
 - **通常の輪講と同様、8 ページの資料をポスター輪講前日の 17 時までサイボウズにアップロードし、同時に 2 名の審査員と指導教員に資料を電子メールで送付すること。**資料のファイル名を、

日付(Yymmdd)+(ポスターID)+氏名.PDF

とすること、例えば「2011 年 7 月 29 日」にポスターID「F01LP」で発表する場合、「110729F01LP 鶴岡慶雅.PDF」とすること。

- ポスターを英語で作成 すること。自分の割り当てられたセッションに関わらず、ポスター輪講当日の最初のセッション開始 10 分前までに、所定の場所にポスターを必ず貼っておくこと。ポスターパネルの大きさは幅 90 cm 、高さ 180 cm である (A0 サイズのポスターを貼ることができる)。

(B) 当日の発表に関して

- 「1 分間発表」では、自分の研究の概要を説明する。プロジェクタからは、あらかじめ決められた発表者リストの順に、「1 分間発表スライド」が表示される。1 分経つと自動的に次の発表者のスライドに切り替わるので、手際よく発表すること。
- 各ポスター発表を、審査員 (教員 2 名) で審査する。審査員を事前に公表するので必ず確認すること。各審査員当たり 20 分を目安に発表、質疑を行う。
- 審査員が現れたら、他の聴講者との議論は一旦打ち切り、審査員への説明を優先して行うこと。
- 修士 2 年の学生は、本ポスター発表を修士論文予備審査と考えること。
- 発表者は、報告書 (感想文) を提出する必要はない
- 全てのセッションが終わったら、自分のポスターを片付け、持ち帰ること。

4. 参加に当たっての注意事項 (参加者向け)

- 通常の輪講と同様、発表についての報告書 (感想文) を提出すること
- 1 分間発表開始前に報告書を配布し、ポスター終了時に報告書を回収する。遅刻および早退は厳禁なので注意すること。
- 通常の輪講と同様、5 分以上の遅刻を欠席とみなす ので注意すること。
- 当日の開催時間数を基に、輪講出席回数に換算する (たとえば、ポスター輪講が 4 時間であれば、輪講 2 回分の出席とみなす、など)。
- 感想文を書く必要があるので、下敷き等を準備するとよい。

5. 欠席者への対応

- 学会発表、インターンシップ等、やむを得ない理由で欠席する場合は、できるだけ早い時期に指導教員を通して 教務担当に連絡すること。

6. Best Poster Award

- 全ての学生による投票で Best Poster Award を決定する。

不明な点があれば、教務担当 (ccs-kyomu [at] ee.t.u-tokyo.ac.jp)まで、問い合わせること。

以上